

紅葉と庭園美、お点前・茶器の鑑賞in柏崎

新潟滋賀県人会 会報 第5号

平成27年11月15日



紅葉と庭園美、お点前・茶器の鑑賞、オーシャンリゾートin柏崎



当会は会員数10余名の少数会員の県人会ですが、過って一度も会ったことがない会員同士がかなりおられます。

新潟県の地形は南北約330km、車所用時間高速道で約4時間弱（東京、愛知の両先端間）、集合するに容易ではありません。

少人数の会員構成なれば、運営次第では、全会員同士の親睦を深めることが出来るのが小会の特性（利点）です。先述の問題点を解消推進するために会員の地元へ出向き、身近に地域の文化などに接するとともに、会員との交流を深厚していくよう、昨年度は上杉会員の地元下越地方、新潟市秋葉区（旧新津市）で開催しました。

今年度は11月8日（日）中越地方柏崎市において表題の集いを挙りました。

当初参加者は9名の予定でしたが、やむを得ぬ事情での欠席者があり僅か6名、生憎の小雨模様のなかで、果たしてどうなるかといさか杞憂していました。



錦秋そのもの、飯塚邸の素晴らしい紅葉と赤坂山の木村茶道美術館の奥行深い茶席とお庭の拝観など、小雨もなかなかの風情を添えて、私たち年配者にとって滅多にあのような秋の日本美を満喫できる場所は鑑賞できるものではありません（中略）。少人数でしたがとてもたのしい一日をありがとうございました（後略）。

（11月9日 中村五郎顧問より小生宛のお手紙より）

新潟滋賀県人会 市井 康三

「飯塚邸の概要」

近世、近代における越後の上質な和風建築を今に伝える市内唯一の公共施設です。

飯塚家はこの地域の大地主として地域経営に貢献し、経済界及び政界において活躍した家柄です。

終戦後の昭和22年10月、飯塚家は昭和天皇の全国御巡幸の際の行在所（あんざいしょ）となりました。

その後、庭園は「秋幸苑」（しゅうこうえん）の名を天皇陛下から賜り、昭和48年には「秋幸苑と行在所」が柏崎市史跡として文化財指定を受けました。

平成13年に、第14代当主飯塚知義氏から市へ寄贈され、平成15年から一般公開されています。



主屋



邸内より正門（表門）を観る



正門付近の紅葉



館長より邸内のガイドをうける





「主屋」にて(左:市井・塚本・中村・小熊・中村夫人)



主屋の西側に広がる庭園 「秋幸苑」



主屋にて中村夫人と小熊さん(柏崎市在住)



主屋の西側に広がる庭園 「秋幸苑」

「松雲山荘」

松雲山荘は、赤坂山公園に隣接し、昭和46年12月飯塚謙三氏から市へ寄贈された庭園です。赤松、つつじ、もみじなど多くの樹木に覆われ、燈籠・石碑・太鼓橋・池等が点在し、四季折々の風景とともに静かな雰囲気味わえます。敷地内には、木村茶道美術館があります。



松雲山荘入口



松雲山荘庭園

「木村茶道美術館」

寒香庵木村重義翁が収集した古書画、茶器類約600点を季節ごとに展示。その展示品の茶器でお茶を楽しむことができます。また屋外茶席もあり、四季折々の庭園美を眺めながら気軽にお茶をいただけます。



第一展示室



お点前のあとの茶室にて(11月 霜月茶席)



瀬戸



第二展示室



木村茶道美術館真下の松雲山荘



お食事処「**海洋**」は、日本海を見渡す絶好のロケーション。

窓左方に観える北陸自動車道、橋梁赤色の「米山大橋」と日本海も絶景。

柏崎名物「鯛御膳」を食す。

午後2時半ころ解散

